



まねん

K K R 広島記念病院広報誌

第3号

発行所 〒730-0802
広島市中区本川町1-4-3
国家公務員共済組合連合会
広島記念病院
TEL (082) 292-1271

21世紀の飛躍

広島記念病院 院長 中井 志郎

病院運営における基本的な目標は、医療の質の向上（サービスの向上）と健全経営です。この為には診療のインフラ整備と情報の共有化が必要です。

21世紀は、国を上げての information technology（IT）時代です。

当院は3年後の電子カルテ化を目ざして、今年からIT委員会を立ち上げ、コンピューター導入の為に全職員の教育と実務マスターの為にトレーニングを始めます。

電子カルテ導入により病病連携、病診連携はさらに緊密に迅速に対応できるものと考えております。

それに先がけこの度、広島記念病院のホームページを立ち上げました。立ち上げたばかりで内容は不十分ですが、随時更新してより良いものにしていきたいと考えております。ご意見ご指導をお願いします。また、院長室にもパソコンを設置しました。インターネットにつながっておりますので皆様の生の声をお聞かせ願えればと思っております。

皆様方のニーズに応え、病院の理念を実現するため、さらに努力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

広島記念病院ホームページURL

<http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org>

院長メールアドレス

s-nakai@kkrhiroshimakinen-hp.org

ホームページ用メールアドレス

info@kkrhiroshimakinen-hp.org



各科紹介

眼 科

眼科医長 桂 真理

眼科は開設当初より当時の広島大学眼科百々次夫教授が診療に携わり、その後、歴代の医長によって最新の治療を取り入れてきた歴史があります。

現在は平成 12 年 4 月より桂が、9 月より芳谷が着任し二人体制で診療を行っています。診療内容で最も多いのは白内障手術です。現在水曜日、金曜日に各 3 例程度のペースで主に超音波白内障手術を行っています。症例によっては自己閉鎖創水晶体嚢外摘出術や、眼内レンズ毛様溝縫着術等も行っております。手術は全例入院手術を行っていますが、患者

様の状態やニーズに合わせて外来手術、一泊入院手術等も flexible に考えていきたいと思えます。白内障入院に関しては、クリティカルパス（診療計画）を作製し、良質の治療十分なインフォームドコンセント（説明と同意）をモットーにしております。

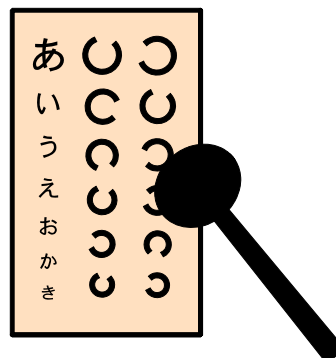
このほかに緑内障に対してはトラベクトミー、トラベクロトミー、各種レーザー治療を、網膜剥離には広島大学眼科からの応援のもとに強膜バックリング手術を行っております（硝子体手術は行っておりません）。斜視手術、角膜移植も対応可能です。

このほか眼底疾患としては糖尿病網膜症をはじめとする網膜循環障害、加齢黄斑変性症に対する色素レーザー等を行っております。ぶどう膜炎、角膜潰瘍等の難治性疾患に対しても最新の情報を取り入れながら積極的に取り組んでいきたいと考えております。



手術 (2000.4.1-9.30)	件数
超音波白内障手術	125 件
水晶体嚢外摘出術	8 件
その他の術	18 件

レーザー (2000.4.1-9.30)	件数
糖尿病網膜症	48 件
網膜静脈閉塞症	32 件
黄斑部疾患	3 件
網膜裂孔、網膜変性	18 件
緑内障	5 件
後発白内障切開	18 件



各科紹介

歯 科

広島記念診療所 歯科医長 山田賢治

歯科は平成10年4月より広島記念診療所として再スタート切っています。

スタッフ構成は常勤として山田 賢治、大学病院から火曜日の午前に玉元 光弘（補綴指導医、認定医）、金曜日の午前に牧平 清超が勤務しています。

診療室の場所は元分院の跡に開設された老人保健施設「記念寿」の一階に位置しています。

診療は歯科一般、子供から大人まで様々な年齢層で、各ライフステージに対応した治療を行っています。

歯科の2大疾患であるウ触、歯周病は早期発見、早期治療が非常に大切です。また、各個人の口の中は歯の本数、歯肉の状態、唾液の性状等でウ触になりやすい、歯周病になりやすいと異なった傾向があります。それぞれに適した対応を心がけています。

また、治療終了は終りでなく再発予防のためには定期健診が必要です。

外来患者様のみならず入院患者様、記念樹の入所者様への歯科治療は診療室だけではなく、可能な治療はベッドサイドで行い、きめの細かいサービスを目指しています。

老人保健施設との併設に伴い、診療室も診療台の間を広く取ってあるため、車椅子のとり回しや、車椅子に座ったままでの処置、患者様の負担をより少なくと考えています。

診療内容で特に義歯の治療は得意分野です。消化器の入り口として、口の健康維持、管理は生活の質的な向上に大きく貢献しています。これを歯科では最大の目標として掲げています。その他、顎関節症、新素材でもあるキャストブルセラミックを使ったクラウン、インレー、磁石を使った義歯を提供できるようにしています。

また、ご依頼があれば対応できる範囲で訪問診療にも取り組んでいきたいと考えています。口の中に何か異常があれば気楽にお知らせください。



各科紹介

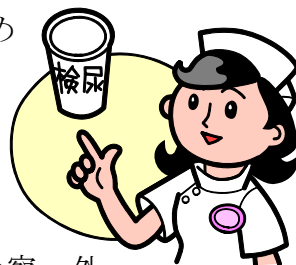
泌 尿 器 科

泌尿器科 梶原 充

泌尿器科は現在、非常勤ながら広島大学泌尿器科講師・松原昭郎（昭和 60 年卒）と同助手・梶原 充（平成 6 年卒）の 2 人で、外来診療を中心に行っております。

当科では“患者さんに分かりやすい医療、納得していただける医療”をモットーに、小児泌尿器科から内視鏡手術まで、患者の多様なニーズに応えるべく、様々な泌尿器科的サービスを外来レベルで提供しております。また、広島大学泌尿器科とも提携し、入院加療を必要とする急患、重症癌疾患にも対応しております。

外来では、最近話題になることの多い前立腺癌、前立腺肥大症を始めとする排尿障害、老人や女性のQOLを低下させる尿失禁には、特に積極的に取り組んでおり、患者さんには喜んでいただいております。



中区という立地条件の良さのためか、記念病院という信頼のためか、近辺の先生方からの紹介も多くいただきます。できる限り紹介日に診察・外来検査を施行し、速やかな診断・加療が行われるように、外来看護婦とともに努力しております。

泌尿器科はともすれば受診しにくい、したくない科と思われませんが、悪性疾患はもとより、QOL向上に対しても、何かとお役に立てることが多いと思います。排尿に関する症状が認められる場合は、お気軽に受診していただければと存じます。



梶原 充 医師



松原 昭郎 医師

各科紹介

皮膚科

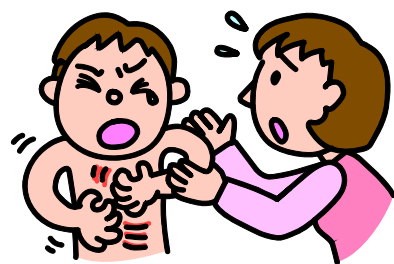
皮膚科 三原 祥嗣

現在の皮膚科の診療は、月曜午前、三原祥嗣（平成4年卒）と、金曜午前、木岡光恵（昭和59年卒）の2名の非常勤医で担当しております。以前は月、水、金の週3回の診療体制としていましたが、皮膚科専門医のいない地域への医師派遣の増加や、大学の医局員の減少などにより、大学から派遣可能な医師が不足してきたため、平成12年9月からは週2回の診療となっています。患者の皆様や関係の方々にはいろいろとご迷惑をおかけしており、この場をお借りしてお詫びいたします。

週2回の非常勤での診療のため診療範囲は自ずと限定されてしまいますが診療内容は、湿疹、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、水虫などを初め、膠原病、薬疹、痔瘡や皮膚腫瘍など多岐にわたっています。ホクロなどの外来手術や皮膚生検などの検査も、ほぼ毎回のように行っています。比較的重症な疾患の場合は外科、内科、小児科など、他科の先生方と連携して診療を行い、また、皮膚科専門的な継続治療が必要な場合には大学病院などの地域の病院と連携をとって診療を行っています。

皮膚疾患の場合、専門医が一目診ただけで診断がついてしまう場合も少なくはありません。何かとお役に立てることも多いと思いますので、お気軽にご連絡頂ければ幸いです。

今後ともよろしくお願いいたします。



月曜日

三原 祥嗣 医師



金曜日

木岡 光恵 医師

骨粗鬆症のお話し

広島記念病院 婦人科産科医長 横田康平

骨粗鬆症は、骨にあらい鬆（す＝穴のこと）がたくさんできることより名付けられた病名です。骨は固いので変化しないようにみえますが、活発な新陳代謝を繰り返しています。体が老化したり、カルシウム摂取が不足すると、新陳代謝のバランスが崩れ、骨がスカスカになって弱くなり、骨粗鬆症をおこします。すなわち背骨が圧迫されてつぶれたり、ころんだ時に骨折しやすくなります。

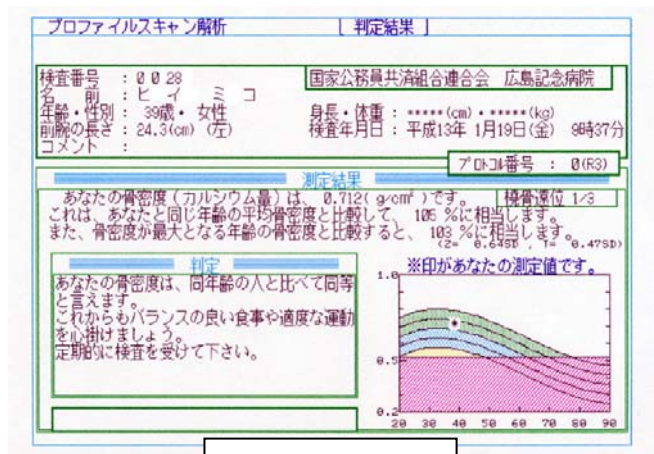
では、骨粗鬆症になりやすい人はどんな人が具体的に列挙してみましょう。まず、若い頃に運動をしなかった人、体を動かすことが少ない人、天気がよくてもあまり外に出ない人、偏食があったりカルシウムを多く含むものをあまりとらない人、コーヒーをよく飲む人、お酒をよく飲む人、たばこをよく喫う人などです。また女性では、女性ホルモン（エストロゲン）の分泌低下があげられます。というのはエストロゲンには骨からカルシウムが抜き取られるのを防ぐ働きがあるからです。

したがって、骨粗鬆症を防ぐには、運動不足の解消とカルシウムを充分摂取することが大切です。適度な運動は骨へのカルシウム沈着と骨の細胞が活性化するのを促します。また運動していれば動作が機敏になって、ちょっとつまづいた程度では倒れなくなります。カルシウムを多く含む食品としては牛乳、チーズなどの乳製品、小魚、小松菜などの野菜があります。特に牛乳や乳製品は消化管からの吸収がよいことがわかっています。さらに必要がある場合は薬物療法を行います。腸からのカルシウムの吸収と骨の形成を助けるビタミンD3や、閉経期以降の女性を対象に骨量の減少を抑える働きのあるエストロゲンを投与したりします。

皆様も自分自身の骨の密度はどれくらいなのか知りたくありませんか。骨の密度をはかり骨の健康状態を調べる検査を骨量検査といいますが、短時間に出来て痛くない検査ですので、是非一度受けてみてください。



DCS-600EX ALOKA 社製



判定結果用紙

病院の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」について

病院のこころ、職員の姿勢を伝えることを意とし、平成10年6月病院建替え完成と同時に、下記の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」を制定いたしました。患者の皆様やその関係者の方々等広くお知らせするため、病院玄関より各階すべてに掲示しております。日々の仕事のなかで実現できるよう努力しております。

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

患者様の権利の尊重

- ◆ 患者様の人間としての尊厳を尊重し秘密を守ります。
- ◆ インフォームドコンセント（良く納得された上での合意）を基盤とし、信頼関係を確立します。
- ◆ 各科の有機的な連携を図り、高次で専門的な総合医療を行います。
- ◆ 癒しの心を持った、接遇、ケアを行います。
- ◆ 癒しの心を持った、入院環境、アメニティーの整備を心がけます。

何かお気づきの点や、紹介等で連絡がありましたら何なりと申し付け下さい。連絡先は下記のとおりです。また外来各科および病棟にFAXを設置しておりますので、ご利用ください。

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課（地域連携室）

TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

4病棟

FAX 082 (503) 1014

5病棟

FAX 082 (503) 1015

6病棟

FAX 082 (503) 1016

7病棟

FAX 082 (503) 1017

8病棟

FAX 082 (503) 1018